

第1回 平和教育 連続講座

記憶の風化

<講座趣旨>

戦後、そして被爆81年を迎える今年、改めて「継承」とは何かについて考えていきたい。戦争体験や被爆体験の継承において、誰の、どのような語りが社会に取り込まれてきたのか。本報告は、報告者のこれまでの研究や実践をもとに、「被爆体験の継承」という考え方と実践を歴史的に紐解きつつ、批判的に捉え直すことを試みる。その上で、参加者とともに「継承」について議論してみたい。

(予定)

- 13:30-13:40 本講座趣旨・自己紹介
- 13:40-14:00 安里さんによる話題提供(20分)
- 14:00-14:20 外池さんによる話題提供(20分)
- 14:20-14:30 休憩
- 14:30-15:00 グループにおける交流/議論(対面・オンライン)
- 15:00-15:25 全体での質疑応答・感想交流
- 15:25-15:30 クロージング

日時:2026年8月8日(土)13:30~15:30

(イベント終了後会場を16時まで借りております。参加者同士の交流にお使いください。)

場所:広島大学 きてみんさいラボ

広島JPビルディング内2階(先着:20名)

方法:対面・ZOOMによるオンライン同時開催

話題提供 ① 安里 拓也(合同会社みるぶん・平和教育ファシリテーター)

受動的「継承」から能動的「対話」への転換—

沖縄戦・基地問題を時系列で学び、学生の興味関心を育む構造的アプローチ

話題提供 ② 外池 彩萌(筑波大学大学院・院生)

記憶の風化は何をおそれているのか

基町高校「原爆の絵」プロジェクトを巡って

<事前登録>

参加をご希望の方は、下記URLより事前登録をお願いいたします。対面は、場所の関係上定員を設けております。

<https://forms.gle/KIK5MRIVkWlwwt12A>

主催 JST 次世代研究者挑戦的研究プログラム 亀井恭祐

連絡先 広島大学大学院 人間社会科学研究科 亀井

アドレス kamekamedurms1009@gmail.com

